八百万の神々との縁の地

出雲エリア

IZUMO AREA

■各スポットの MAP A-0 は巻末のアクセスマップに対応しています。

出雲大社と周辺

神話に彩られた舞台で悠久のときを想う

神門通りから少し足をのばすと、古代出雲の歴史が凝縮された施設や国譲り神話の舞台となった地など、出雲神話の世界へ誘う注目のスポットがあなたを待っています。出雲大社参拝のあとは、悠久の歴史ロマンに想いを馳せながら、周辺をゆっくり時間をかけて散策するのがおすすめです。

所蔵：出雲大社

神々の国しまねの歴史を紐解く

こだいいずもれきしはくぶつかん

古代出雲歴史博物館

MAP H-2

古代出雲や出雲大社の歴史・文化を紹介する博物館。出雲地方から出土した大量の銅剣・銅鐸（国宝）や出雲大社境内遺跡で発見された巨大な柱など、見どころ満載です。神々の国しまねの遥か昔に想いを馳せてみてください。

TEL/0853-53-8600 休：第3火曜（祝日の場合開館、翌日休）※変更の場合有り

写真提供：古代出雲歴史博物館

所蔵：文化庁

出雲大社境内遺跡から発見。直径約3mの巨大な柱「宇豆柱」

所蔵：出雲大社

出雲大社東隣。古代の面影を残す北山山系を背景に立つ。

酒造りを祝いどぶろくがふるまわれる秋季例祭

酒造り発祥の地 B

さかじんじゃ（まつおじんじゃ）

MAP J-2

佐香神社（松尾神社）

美味しい米と水のある島根は銘酒の地の一つ。そんな島根には、酒造り発祥の地とされる神社が。酒はもちろん麹から味噌・醤油までご利益があるという醸造の神「クスノカミ」を祀り、また全国に2社しかない酒の神様「松尾」様の名をいただく神社のひとつです。一年一石180リットルの「どぶろく」醸造が特別に許可されています。TEL/0853-67-0007

艶やかな朱色が美しい社殿

ひのみさきじんじゃ

日御碕神社 C

MAP H-2

日本の昼を守る伊勢神宮に対し、夜を守る日御碕神社。下の宮「日沈宮」と上の宮「神の宮」という2つの本殿をもち、日沈宮にはアマテラスオオミカミが、神の宮にはスサノヲノミコトが祀られています。　TEL/0853-54-5261

日本有数のパワースポット D

すさじんじゃ

MAP H-3

須佐神社

神戸川の支流、須佐川のほとりに鎮座し、唯一、スサノヲノミコトの御魂を祀る神社です。社殿の後ろには樹齢1300年ほどと推定される大杉がこの地を守るかのように立ち、『出雲国風土記』に登場する神社で悠久のときを感じることができます。　TEL/0853-84-0605

さぎうらちく

鷺浦地区

岩盤を手で掘り上げた「鷺浦隧道」を抜けると、赤い瓦屋根が印象的で昔ながらの町並み息づく小さな港町、鷺浦地区。出雲沖の藻塩も名物。

ぐるっとめぐって…

5時間くらい

出雲大社で神様にご挨拶したら、広い境内をゆっくり散策。お酒落スポットが軒を連ねる神門通りでは、ご当地グルメでお腹を満たしご縁グッズやお土産選びを楽しむのもいいね。少し足をのばして古代出雲歴史博物館や佐香神社、稲佐の浜など出雲神話の世界に浸ってみよう。

NEXT PAGE ▶▶
15ページの「雲南」までは
車 で 1時間くらい

奈良時代のガイドブック!?

『出雲国風土記』ってなに？

今から1300年前、時の朝廷は全国に「風土記」の作成を命じました。その目的は全国の産物や地名の由来、地域に残る古い伝承を調査することでした。その後多くの国の風土記は失われてしまいましたが、『出雲国風土記』だけは、ほぼ完全な形で現在に伝わっています。その内容は恋山や斐伊川などの自然、アワビやイカといった島根半島の海岸でとれる海産物、国引き神話のような地元に伝わる神話や伝承など、さながら出雲国のガイドブックのよう。さあ風土記を片手にいにしえの出雲を旅してみましょう。

国引き神話ってなに？

島根半島がどのように形作られたかを語る壮大な神話です。

国引き神話のあらすじ

ヤツカミズオミヅヌノミコト、出雲は小さい国だと気づく。

海上はるか彼方を見ると余っている土地があるのを発見。

土地を切り割いて綱をかけて引っ張ってくる。

縫い付けて島根半島が完成。完成の証に杖をつき、「おえ」と叫ぶ。

最後に叫んだ「おえ」が「意宇」という地名の由来であると記されています。

絶景ポイント！

MAP H-2

稲佐の浜(P.11)近くの奉納山。ここからはきれいな弧を描く海岸線と遠くに三瓶山が望めます。国引き神話では、この長い海岸線を土地を引っ張ってきた綱に、三瓶山をその綱を結び付けた杭に見立てています。

神様が宿る山、出雲国のカンナビ

『出雲国風土記』には、「カンナビ」という山についても記されています。全部で四つありますが、いずれも遠くから見るときれいな三角形の形をしています。まさに神様が宿るにふさわしい美しさです。またカンナビの頂上やふもとには神様を祭った社があるとも記されています。カンナビは古代の人びとの信仰のよりどころでもあったのです。そして四つのカンナビはちょうど宍道湖を囲むようにそびえています。古代の人びとが出雲を象徴する宍道湖をいかに大切にしていたかをうかがい知ることができますね。

出雲国のカンナビを体感しよう！

秋鹿郡（松江市北西部）のカンナビは松江市東長江町にある朝日山（標高341m）と言われています。『出雲国風土記』には「この山のふもとに佐太大神の社がある」と記され、現在も佐太大神を祭る佐太神社が山の東側に鎮座しています。

※秋鹿郡のカンナビについては朝日山以外の山に当てる説もあります。

朝日山は松江市講武公民館付近（松江市鹿島町北講武3-1）からだときれいな三角形に見えます。手前には佐太神社が鎮座しており、『出雲国風土記』と同じ景観が広がります。

佐太神社　TEL/0852-82-0668

MAP J-1

MAP K-1

『出雲国風土記』で佐太大神が生まれたとされる加賀の潜戸。遊覧船で洞窟内を探検することができます。

加賀の潜戸

TEL/0852-85-9111（マリンプラザしまね）

風土記についてもっと知りたい…そんな時は“れきはく”に行こう！

古代出雲歴史博物館の「出雲国風土記の世界」コーナーは、全国の博物館でもほかに例がないほど「風土記」に関する展示が充実しています。『出雲国風土記』にはどんなことが書いてあるの？当時の人びとはどんな暮らしをしていたの？『出雲国風土記』ってどうやって今まで伝わったの？…などなど、『出雲国風土記』の謎と魅力について、模型や映像などを通じて楽しく学べます。

※古代出雲歴史博物館の基本情報は10ページをご覧ください。

MAP H-2

写真提供：古代出雲歴史博物館

さらに2017年3月からは『出雲国風土記』についてもっと深く知るチャンス！

島根県立古代出雲歴史博物館 開館10周年記念

企画展 出雲国風土記

-語り継がれる古代の出雲-

会期

2017年3月25日（土）～5月16日（火）

［会期中の休館日：4月18日（火）］

詳しくは博物館のHP（http://www.izm.ed.jp/）をご覧ください。

全国の「風土記」が出雲に勢ぞろい！